

亀須公民館長寿命化改修工事

設計図

仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

三重県三重郡川越町大字亀須新田字誕生新田278-5

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令第 一 表	備 考
公民館					

3. 工事種目 (○印のついたものを適用する)

建 物 別 及 び 屋 外 工 事 種 目	本館	屋外	工 事 種 別		
○ 電力設備	改修一式				
○ 動力設備	改修一式				
・ 電気自動車用充電設備					
・ 電熱設備					
・ 雷保護設備					
・ 受変電設備					
・ 発電設備					
○ 構内情報通信網設備	改修一式				
・ 構内交換設備					
・ 情報表示設備					
・ 映像・音響設備					
・ 拡声設備					
・ 誘導支援設備					
○ テレビ共同受信設備	改修一式				
・ 監視カメラ設備					
・ 駐車場管制設備					
・ 防犯・入退室管理用設備					
○ 火災報知設備	改修一式				
・ 中央監視制御設備					
・					
・ 構内配電回路					
・ 構内通信回路					
・ テレビ電波障害除去工事					
・					
・ 建築工事					
・ 機械設備工事					

4. 指定部分

○ 無 ・ 有

対象部分 (指定部分工期

令和 年 月 日

II. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁審判部制定の下記仕様書のうち、○印の付いたものによる。

○ 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (平成31年版) (以下、「標準仕様書」という。)

○ 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (平成31年版) (以下、「改修標準仕様書」という。)

○ 公共建築設備工事標準単 (電気設備工事編) (平成31年版) (以下、「標準単」という。)

2. 特記仕様

項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
1 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 <div><div>・ 風圧力</div><div>風速 (V=34m/s)</div><div>地表面粗度区分 (ⅠⅡⅢⅣ)</div><div>・ 積雪荷重</div><div>垂直積雪量 (0.3m)</div></div>
2 環境への配慮	(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 <div><div>① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、コア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</div><div>② 接着剤及び塗料は、ルレン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</div><div>③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。</div><div>④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</div></div> <div>(2) 設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは、次の①又は②に該当する材料を指し、同区分が「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。<div><div>① 建築基準法施行令第20条の7 第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料</div><div>② 建築基準法施行令第20条の7 第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</div><div>③ 建築基準法施行令第20条の7 第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料</div><div>④ 建築基準法施行令第20条の7 第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</div></div><div>(3) 「国等」による環境物品等の調達推進に関する法律」に基づく特定調達物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成27年2月閣議決定)」による。</div></div>

項 目

特 記 事 項

3 材料・機材の品質等

(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

③ 安定的な供給が可能であること。

④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

機 材 名 称	
LED照明器具	高圧進相コンデンサ
照明制御装置	高圧限流ヒューズ
可変速電動機用インバータ装置	高圧負荷開閉器
分電盤	高圧変圧器(特定機器)
制御盤	交流無停電電源装置
キュービクル式配電盤	太陽光発電装置(ハフティング及び系統連係保護装置)
高圧スイッチギヤ(CW形、PW形)	監視カメラ装置
高圧交流遮断器	中央監視制御装置(監視制御装置)

・ 50Hz

○ 60Hz

・ 事業用電気工作物

○ 一般用電気工作物

電気保安技術者

・ 要 ・ 不要

契約電力500kV以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

すべて受注者の負担とする。

構内につくことが ・ できる ・ できない

・ 別契約の関係受注者が指定したものは、無償で使用できる。

・ 本工事で設置とする。(改修標準仕様書 第1編 2.2.2によるほか下記による。)

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

・ 内部足場の種別(種)

・ 外部足場の種別(種)

仮設備期間(・ 図示 ・ )

仮電源等(・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 図示 ・ )

養生範囲(・ ・ )

養生方法(・ ・ )

○ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行うこと。

・ 石綿含有分析調査(定性分析)により石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。)

・ 既設配線配管等を切断または接続する箇所は、事前に試験調査を行うこと。

構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。なお、放射線透過検査による場合は特記とし、撮影枚数は1枚以上/部位とする。

既存廊下に穿孔する場合は金属検知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する。

(1) 設備機器、電気配線の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。(100kg以上の機器を対象とする。)

1) 設計用水平地震力

機器の重量[kN]に、設計用水平震度を乗じたものとする。

なお特記なき場合、設計用水平震度は次のとおり。

設計用水平震度	設置場所	機器種別	特定の施設	一般の施設	
			重要機器	一般機器	
			重要機器	一般機器	
上階階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

※水槽類には、オイルタンク等を含むものとする。

上階階とは、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4層とする。

中間階とは、地階、1階を除く各階で上層階に該当しないものとする。

重要機器

・ 配電盤

○ 発電装置

・ 直流電源装置

・ 交流無停電電源装置

・ 交換機

・ 火災報知受信機

・ 中央監視制御装置

○ キュービクル

・ その他( )

2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同様に働くものとする。

項 目

特 記 事 項

15 建設発生土の処理

・ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。

・ 構外搬出適切な処理とする。

※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。

16 電線本数、管路等

分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線は、経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承認を受けて変更しても差し支えない。

また、機械室等の床理設配管は図面上にF管で記載している場合であっても、立上り部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。

17 金属製電線管の塗装・仕上げ

下記の金属製電線管の露出配管は塗装、めっき等の仕上げを行う。

○ 屋外(内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所: 全て(塗装箇所除く))

○ 屋内(内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所: 地階、ビット階)

・ 塗装(・ 屋内 ・ 屋外 ・ 全て ・ 図示)

18 フラッシュプレート

図面に特記なき場合は、○ 金属製(ステンレス、新金属も含む) ・ 樹脂製 とする。

19 電 線 類

BM-UIケーブルは、用途に応じ色分けすること。

20 二重床内器具

二重床内に設置する器具の位置表示として、マーキングを直上の天井面に付けること。

また、用途に応じ色分けすること。

21 インバータ装置の規格効率

三相可変速電動機用インバータ装置の規格効率は次の数値以上とする。

電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
規格効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

備考(1) 規格効率は、JET-TR45「汎用インバータの規格効率」により算出した値とする。

(2) 規格効率は、JISC4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、1P4K、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

22 高効率誘導電動機の配線用遮断器等の選定

高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。

23 接 地 極

接地極の材料は下記による。なお、接地極E<sub>B</sub>(14φ)の長さは1,500mm以上とし、10φはW=30 L=900mm以上、14φは、W=40 L=1,200mm以上としても差し支えない。

接 地 の 種 類	記 号	接地抵抗値	接 地 極 (参考)
・ 共同接地	E <sub>ABCD</sub>	Ω以下	E <sub>B</sub> (14φ)×3連—組
・ 共同接地	E <sub>ABC</sub>	10Ω以下	E <sub>B</sub> (14φ)×3連—3組
・ A種	E <sub>A</sub>	10Ω以下	E <sub>B</sub> (14φ)×3連—2組
・ B種	E <sub>B</sub>	Ω以下	E <sub>B</sub> (14φ)×3連—2組
・ D種	E <sub>D</sub>	100Ω以下	E <sub>B</sub> (10φ)×1 (L=1,000mm)
・ C種	E <sub>C</sub>	10Ω以下	E <sub>B</sub> (14φ)×3連—2組
・ 高圧避雷器用	E <sub>OH</sub>	10Ω以下	E <sub>B</sub> (14φ)×3連—3組
・ 低圧避雷器用	E <sub>UL</sub>	10Ω以下	E <sub>B</sub> (14φ)×3連—2組
・ 構造体接地			
・ 交換機用	E <sub>I</sub>	10Ω以下	E <sub>B</sub> (14φ)×3連—3組
・ 通信用	E <sub>U</sub>	10Ω以下	E <sub>B</sub> (14φ)×3連—3組
・ 通信用	E <sub>u</sub>	100Ω以下	E <sub>B</sub> (10φ)×1 (L=1,000mm)
・ 電話引込口の保安用	E <sub>UL</sub>	100Ω以下	E <sub>B</sub> (10φ)×1 (L=1,000mm)
・ 測定用	E <sub>s</sub>		E <sub>B</sub> (10φ)×1 (L=1,000mm)

24 天井仕上げ表示

取付高さ

図面において、室名に( )を付したものは直天井を示し、それ以外は二重天井の断層を示す。

壁付、壁掛けの機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名 称	測 点	取付高さ [mm]
ブラケット (一般)	床面 ～ 中心	2,100
〃 (踊場)	〃	2,500
〃 (鏡上)	鏡上端 ～ 中心	150
スイッチ (一般)	床面 ～ 中心	1,200
〃 (多機能便所用)	〃	1,200
自動スイッチ (照明、換気扇用等)	〃	1,800
コンセント、電話用アダプタ、テレビ端子 (一般)	〃	300
〃 (和室)	〃	150
〃 (台所)	台面 ～ 中心	150
コンセント (土間)	床面 ～ 中心	800 ～ 1,300
コンセント (電動機用す完用電)	〃	900
引込配線箱(低圧)	床面 ～ 上端	1,900
分電盤、制御盤、実験盤	床面 ～ 中心	1,900(上端1,900以下)
開閉器箱	〃	1,900
電圧開閉器用押しボタン	〃	1,200
接地用端子箱	地上、床面 ～ 中心	500
試験用継続端子箱	床面 ～ 下端	800
接地極埋設機	地上 ～ 中心	600
給油ボックス	地上 ～ 給油口	1,000
室内端子盤(廊下・室内)	床面 ～ 下端	300
中間端子盤(EPS・電気室)	床面 ～ 中心	1,500
壁付電話機	〃	1,300
親時計	〃	1,500(上端1,900以下)
子時計、スピーカ	〃	(天井高)×0.9
アンテナネー	〃	1,200
表示盤	〃	(天井高)×0.9
発信機(出退表示用)	〃	1,200
外部受付用インターホン(子機)	〃	標準図による
壁付インターホン (上記以外)	〃	1,100
呼出ボタン(多機能便所用)	〃	900
復旧ボタン(〃)	〃	1,300
廊下表示灯(〃)	〃	2,000
テレビ機器収容箱	天井下 ～ 上端	200
火報受信機(複合部)	床面 ～ 操作部	800 ～ 1,500
副読機	床面 ～ 中心	1,900
機器収容箱(火災報知設備)	〃	800 ～ 1,500
発信機	〃	800 ～ 1,500
警報ベル	〃	(天井高)×0.9
表示灯(火災報知設備)	〃	(天井高)×0.8
連動制御器(自動閉鎖)	〃	1,500
ガス漏れ検知器(重ガス)	〃	300
ガス漏れ検知器(軽ガス)	天井面 ～ 中心	(天井高)ー200

(参考) 天井面を基準とする取付高は、天井高さが2,500mmから3,000mmの場合に適用する。

天井高さが3,000mm以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

25 他工事又は他工種との取合い

工事区分による。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議する。

・

・

・

・

設計代表者

一級建築士  
№352551  
田端 進也

設計担当者

一級建築士  
№372093  
構造設計一級建築士  
№8984  
井上 貴智

一級建築士  
南 賢治

SCALE  
A3 : -/-

DATE  
F5.3

工事名称

亀須公民館長寿命化改修工事

図面名称

電気設備工事 特記仕様書(1)

E-01  
原図: A3

田端 進也

田端 進也

項目

特記事項

項目

アスベスト含有物の取り扱い

27

工事用電力、水等

28

産業廃棄物処理

29

工事の保護

30

建設共済等

31

工事実施情報の登録

32

施工体制台帳の提出

33

監督職員事務所

34

完成時の提出図書

35

発生材の処理

36

工事記録

37

銅製電線管

38

呼び線

39

再使用機器

40

トンブラスイッチ

41

配線器具等

42

機器仕様

43

合成樹脂管配線

44

位置ボックス

45

最上層の埋込配管

46

既設との取合い

47

自家発電設備の配管工事等

48

地中配線の埋設深さ等

49

施工条件

50

地中配線の埋設様

51

資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項

52

一般照明的照度測定

53

施工図等の取扱い

1

一般事項

2

アスベスト含有建材の処理工事

3

アスベストの含有調査

4

アスベスト含有吹付け材の除去

5

アスベスト含有仕上建材の除去

6

アスベスト含有保温材等の除去

7

アスベスト含有成形板の除去

8

アスベスト含有配管接続部シール材の除去

9

特記事項

労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれのある建築物における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。  
・アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。  
石綿被害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。  
・石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。  
・事前調査結果及び特定労働者届出等作業の指示を行うこと。  
・アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。  
・アスベスト除去完了に伴う免注者への報告を書面にて行うこと。  
アスベスト含有吹付け材の封じ込み処理  
・行う  
・行わない  
アスベスト含有吹付け材の封じ込み処理  
・行う  
・行わない  
アスベスト含有建材除去後の仕上げ  
・行う  
・行わない  
施工箇所及び工法  
※図示  
分析による確認  
・行う（下表による）  
・行わない  

材 料 名	調査方法	1材料あたりの試験回数
	※定性分析（3）	※定量分析（383）
	※定性分析（3）	※定量分析（383）
	※定性分析（3）	※定量分析（383）

  
アスベスト含有吹付け材の有無  
・有  
・無  
〔9.1.3〕  
除去吹付け材（）含有場所（）  
吹付けアスベストの施工数量調査  
※行う  
アスベスト 粉じん濃度測定  
※行う  
表9.1.1 アスベスト 粉じん濃度測定  

測定時期	測定名称	測定場所	測 定 点（各施工箇所ごと）	備考
処理作業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	〔注〕1
	測定2	施行区画周辺 又は、敷地境界	計2点	大気
処理作業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	〔注〕1
	測定4	地下パイプン入口	1点	密閉の袋を準備
	測定5	集じん・排気装置 の排出口	1点	〔注〕2
	測定6	施行区画周辺 又は、敷地境界	4方向各1点	—
処理作業後 （隔離シールド撤去前）	測定7	処理作業室内	各2点又は3点	〔注〕1
	測定8	施行区画周辺 又は、敷地境界	4方向各1点	大気

  
〔注〕1. 各施工箇所ごとの室内積が60㎡以下または2点、300㎡以下または3点とする。  
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。  
〔注〕2. 集じん・排気装置の性能確認  
表9.1.2 アスベスト 粉じん濃度測定方法  

	測 定 3	測定1、2、4、6、7、8	測 定 5
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		
試料の吸引流量	1l /min	5l /min	10l /min
試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min
試料の透明化	アセトニートリアセチレン法又は、シュウ酸ジェテル法		
計数条件	経アスベスト繊維数 200本又は視野数90視野		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ直径比3：1以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

  
作業場の隔離 ※行う  
除去工法  
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。  
処分方法  
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。  
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。  
アスベスト含有仕上建材の除去（除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等）については、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上建材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。  
アスベスト含有仕上建材の有無  
・有  
・無  
除去仕上建材（）含有場所（）  
撤去の範囲  
・全面撤去  
・図示による  
除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする）  
・水洗い工法  
・手工具ケレン工法  
・集じん装置付高圧水洗工法  
・集じん装置付超高圧水洗工法  
・超音波ケレン工法  
・剥離材併用高圧水洗工法  
・剥離材併用超高圧水洗工法  
・剥離材併用手工具ケレン工法  
・剥離材併用超音波ケレン工法  
・風塵装置付ディスクグラインダーケレン工法  
上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。  
除去工法の試験施工  
・行う  
※行わない  
作業場の隔離及び養生  
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散防止防止対策徹底マニュアル」による。  
・隔離発生不要  
・隔離発生必要（負担不要）  
・その他（）  
処分方法  
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。  
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う  
アスベスト含有保温材の有無  
・有  
・無  
〔9.1.4〕  
除去保温材（）含有場所（）  
作業場の隔離  
・行う  
・行わない  
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。  
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う  
アスベスト含有成形板の有無  
・有  
・無  
〔9.1.5〕  
除去成形板（）含有場所（）  
作業場の区画  
・行う  
・行わない  
処分方法  
石綿含有石膏ボード  
※管理型最終処分場で埋立処分する。  
石綿含有石膏ボード以外  
・埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。  
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う  
アスベスト含有シール材の有無  
・有  
・無  
除去シール材（）含有場所（）  
作業場の隔離  
・行う  
・行わない  
除去工法  
湿潤にて撤去を行い、適切に処分する事。  
処分方法  
・埋立処分  
・アスベストの中間処理に適する溶融施設  
・認定を受けた無害化処理施設  
※本工事に配置管理させる者（有資格者）  
※特定化学物質等作業主任者（H8.3.31以前の講習修了者）  
又は石綿作業主任者（H8.4.1以降の講習修了者）

項目

設計代表者

設計担当者

SCALE

A3

DATE

R3.3

工事名称

電須公民館長寿命化改修工事

図面名称

電気設備工事 特記仕様書(2)

備考

設計代表者

設計担当者

一級建築士  
No.352551  
田端進也

一級建築士  
No.372093  
南賢治

一級建築士  
No.372033  
構造設計一級建築士  
No.8984  
井上真智

一級建築士  
No.8984  
井上真智

電須公民館長寿命化改修工事

電気設備工事 特記仕様書(2)

E-02

原図: A3

田端進也(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端進也

設計代表者

設計担当者

SCALE

A3

DATE

R3.3

工事名称


電須公民館長寿命化改修工事

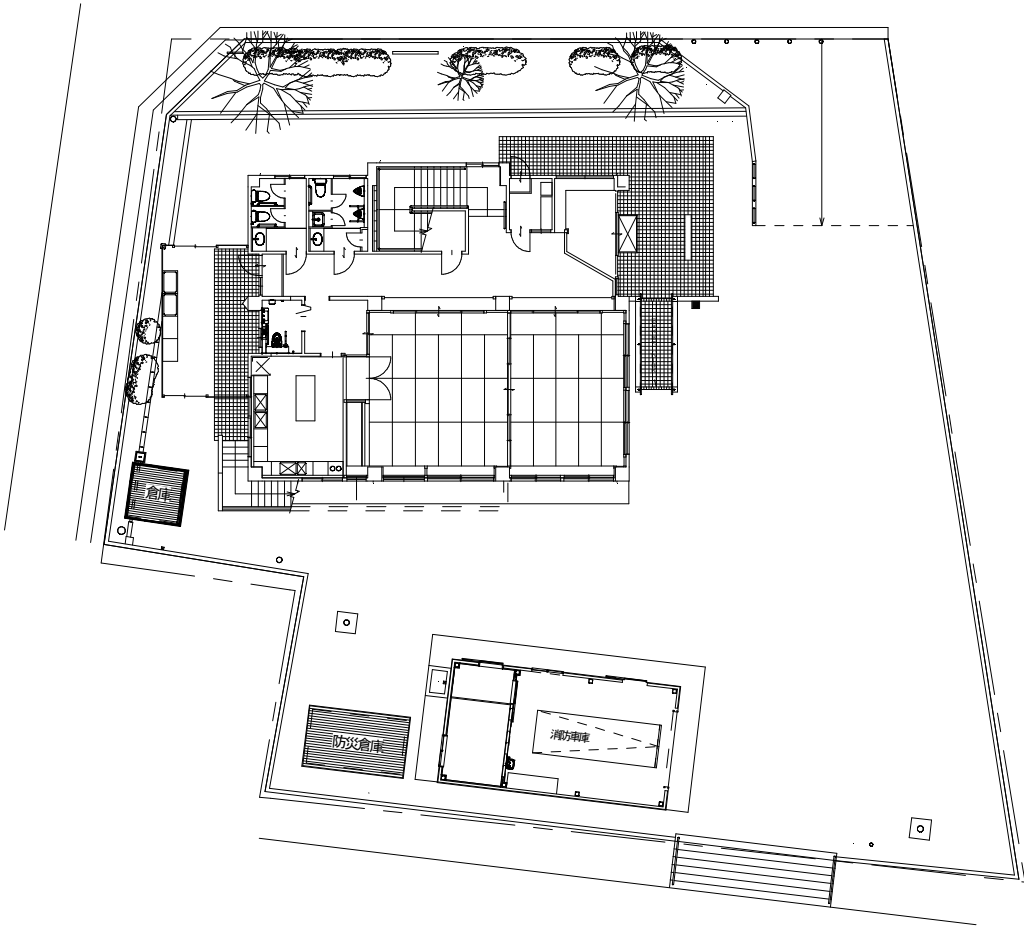
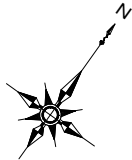
図面名称

電気設備工事 特記仕様書(2)

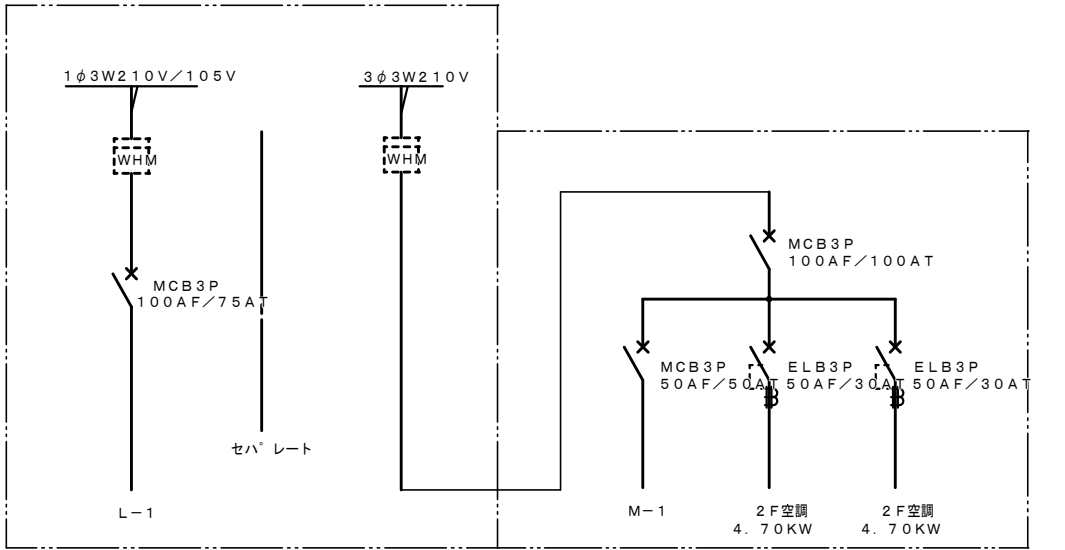
E-02

原図: A3

凡 例		
記 号	名 称	
	動 力 盤	
	電 灯 盤	
	LED灯	
	LED灯	壁付
	シーリングライト	
	ダウンライト	
	非常灯	
	ブラケット	
	スポットライト	
	防犯灯	
	誘導灯	
	換気扇	機械設備工事
	スイッチ	片切
	スイッチ	表示灯付
	スイッチ	3 路
	スイッチ	防水
	自動点滅器	
	人感センサー	換気扇連動型
	センサー用切替スイッチ	2 連
	コンセント	2P15A
	コンセント	2P15A+ET
	コンセント	2P15A×2
	コンセント	2P15AE×2
	コンセント	2P15A×2+ET
	コンセント	200V
	直列ユニット	中間
	直列ユニット	端末
	受 信 機	P-2-5L
	電 鈴	防水
	電 鈴	150φ
	表 示 灯	
	発 信 器	P-1
	煙 感 知 器	2 種
	差動式スポット型感知器	2 種
	定温式スポット型感知器	防 水
	定温式スポット型感知器	特 種

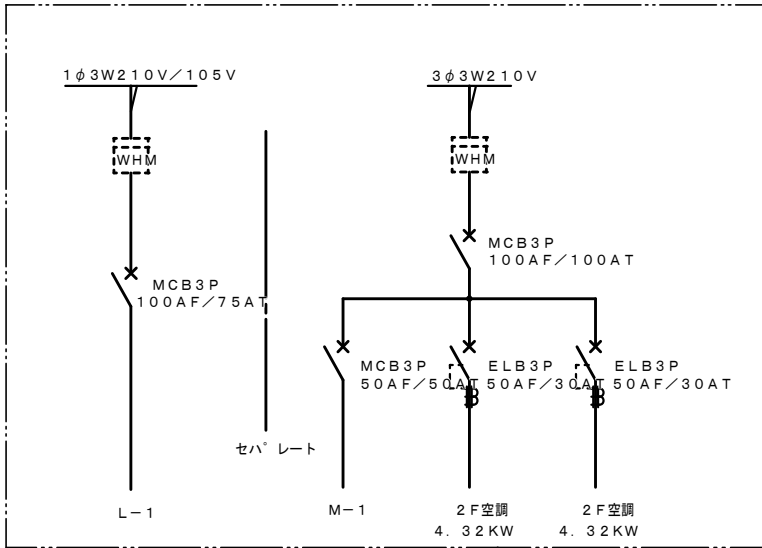


配 置 図      S=1／300

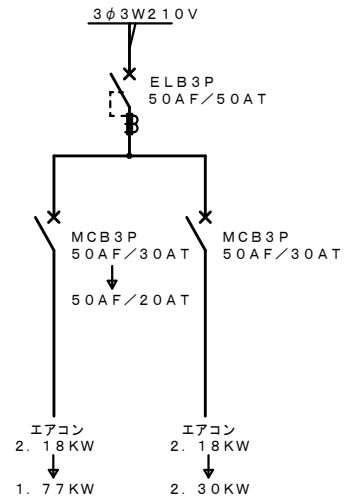


ML-1 (600x1000x200)  
(改修前)

開閉器盤 (400x500x200)  
(改修前)

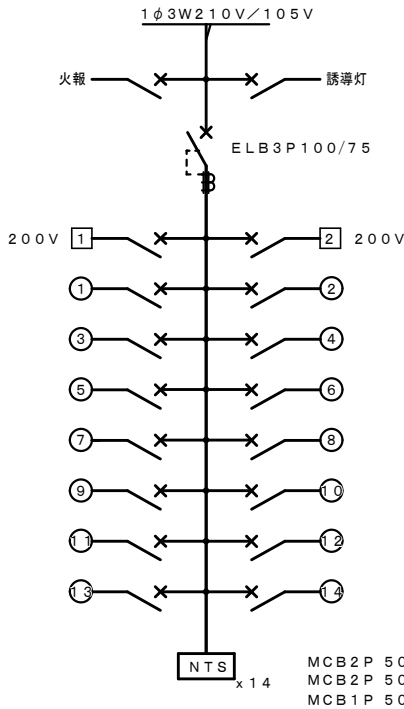


ML-1 (SUS.WP)  
(改修後)



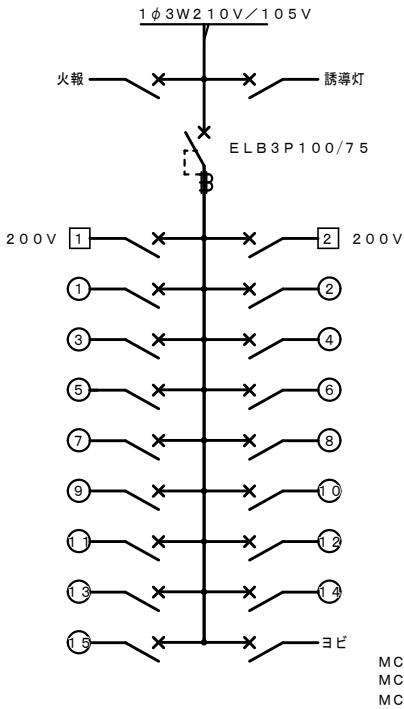
注記  
\* 盤内部更新・箱体再使用とする。

M-1 (400x400x120)  
(更新)



L-1  
(改修前)

注記  
\* 盤内部更新・箱体再使用とする。  
\* 600x1000x120



L-1  
(改修後)

MCB2P 50/20 x 1200V  
MCB2P 50/20 x 220V  
MCB2P 50/20 x 100V

備考	・
	・
	・
	・

(株)田端隆建築設計  
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

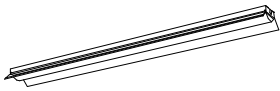




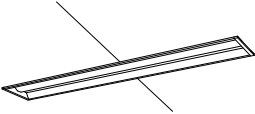
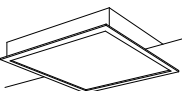


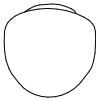
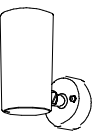
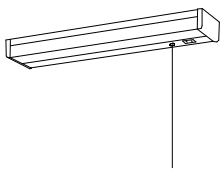


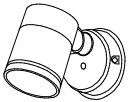

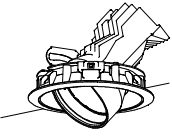
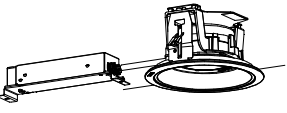
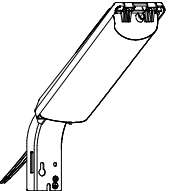
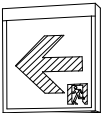

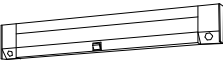
設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.352551 田端進也		一級建築士 No.372093 南 賢治	

SCALE	
A3	1/150
DATE	
R 5 . 3	

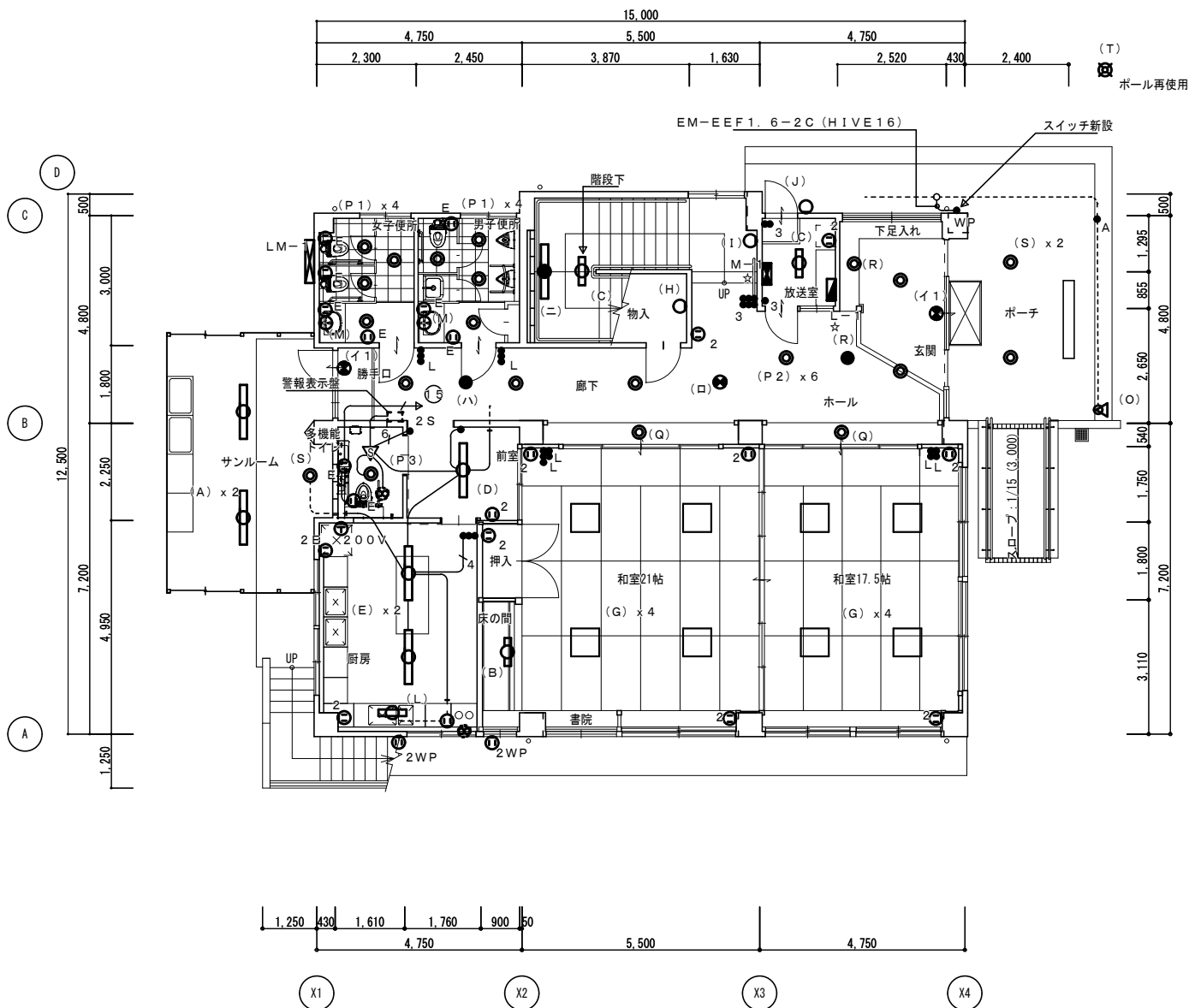
工 事 名 称	電須公民館長寿命化改修工事
図 面 名 称	単線結線図

E-04  
原図 : A3

照明器具姿図

(A)	LED直付型40形	2500mm	(B)	LED直付型20形	1600mm	(C)	LED直付型20形	3200mm	(D)	LED直付型40形	LSS9-4-37	(E)	LED直付型40形	LSS10-4-65	(F)	LED埋込型40形	2500mm
																	
パナソニック XLX420KENPLE9			パナソニック XLX210NENCLE9			パナソニック XLX230AENCLE9									パナソニック XLX420RENTLE9		
(G)	LEDスクエアベースライト 埋込型	□640 4050mm	(H)	LEDライト 100形 壁付	760mm	(I)	LEDライト 100形 壁付	840mm	(J)	LEDポーチライト 60形	696mm	(K)	LEDスポットライト 100形	705mm	(L)	LEDキッチンライト	980mm
																	
パナソニック NNF57500JLT9			パナソニック LGB51563LE1			パナソニック LGB51634LE1			パナソニック LGW85017U			パナソニック LGS3000NLE1			パナソニック LGB52095LE1		
(M)	LEDブラケット	800mm	(N)	LEDウォールライト LBF3MP/RP-2-06	防湿型・防雨型	(O)	LEDスポットライト 防雨型	710mm	(P1)	LEDダウンライト 60形	LRS1-05	(Q)	和風LEDダウンライト 60形	535mm	(R)	LEDユニバーサルダウンライト350形	
									(P2)	LEDダウンライト 100形	LRS1-08						
パナソニック LGB85046LE1						パナソニック XLGE1123CE1			(P3)	LEDダウンライト 150形	LRS1-13						
(S)	軒下用LEDダウンライト 150形 LRS1RP-13		(T)	LED防犯灯	730mm	(イ1)	LED B級・BL形 SH1-FBF20-BL 避難出口誘導灯片面型		(ロ)	LED B級・BL形 ST1-FSF23-BL 道路従添導灯向面型		(ハ)	LED非常灯専用型		(ニ)	LED階段灯薄型	
						(イ2)	LED B級・BL形 SH1-FSF21-BL 避難出口誘導灯向面型										
パナソニック NNY20328LE1												パナソニック NNF091615C 保守率: 0.92 K0143780			パナソニック 直付XLF433UTNCLE9 保守率: 0.92 K0177608		
												器具取付高さ			器具取付高さ		
												2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m			1.0m 1.5m 2.0m 2.5m 3.0m 4.0m 5.0m		
												単体配置 A1 4.2 4.6 4.7 4.9 3.3			Y=1.0m 2lx X+6.1 7.2 8.0 8.7 9.3 10.0 10.1		
												直線配置 A2 9.3 10.2 10.8 11.9 12.9			Y=1.5m 2lx X+5.9 7.1 7.9 8.6 9.2 9.8 10.0		
												四角配置 A4 7.4 8.2 8.7 9.6 11.7			Y=2.0m 2lx X+0.0 0.0 7.8 8.5 9.1 9.6 9.9		
															Y=2.0m 1lx X 0.0 0.0 9.9 10.7 11.4 12.8 13.5		

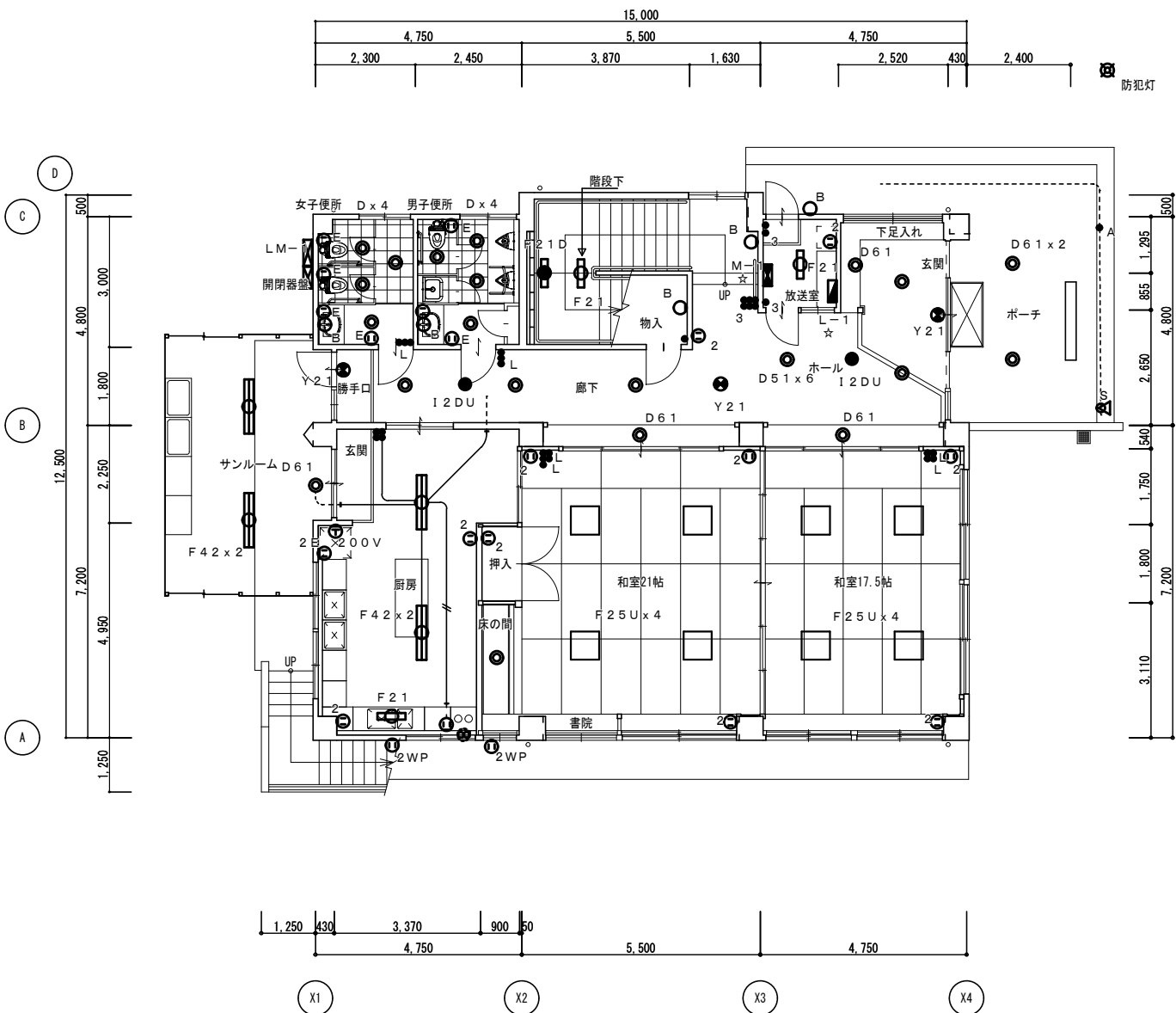
注記  
\* 埋込型照明は必要に応じてリニューアブルプレート等を取付ること。  
\* 既設器具とのサイズ違いによる壁塗装補修、天井開口加工、  
隙間閉塞等は本工事に含む。  
\* 照明器具形状・光束・メーカー品番は参考とし、同等品とする。  
\* 照明器具型番で本体型番を示すものは、LED電球・ユニットを含むこと。



1階平面図 S=1/150  
(改修後)

特記なき配線は下記による	
	EM-EEF1. 6-2C
	EM-EEF1. 6-2Cx2
	EM-EEF1. 6-3Cx2
	EM-EEF2. 0-3C

注記  
\* 実線の機器は新設とする。  
\* ☆ 盤はE-04参照。



1階平面図 S=1/150  
(改修前)

特記なき配線は下記による	
	VVF1. 6-2C
	VVF2. 0-2C

注記  
\* 実線の機器、配線は撤去とする。  
\* ☆ 盤はE-04参照。



特記なき配線は下記による

————— EM—EEF 1. 6—2 C
-----------------------

注記

- \* 実線の機器は新股とする。
- \* ☆ 盤はE-04参照。

特記なき配線は下記による

—— V V F 1. 6 - 2 C
---------------------

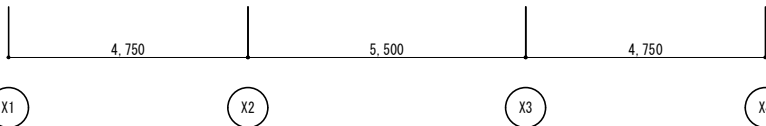
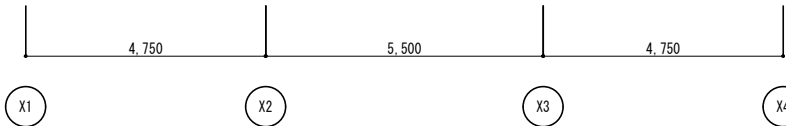
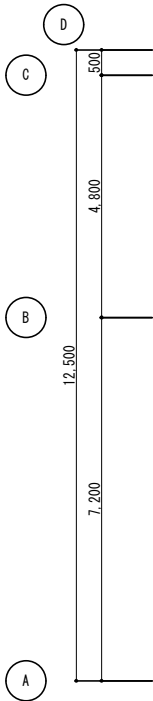
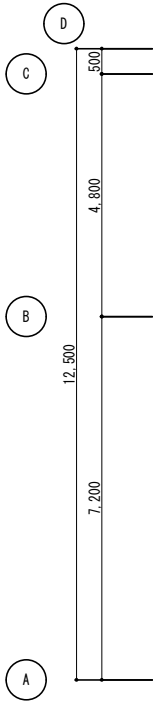
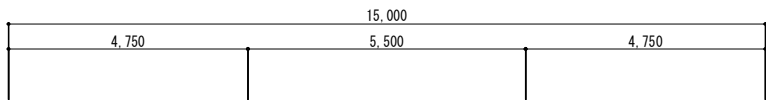
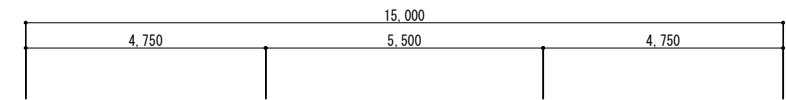
注記

\* 実線の機器、配線は撤去とする。

備考		<div><div></div><div>(株)田端隆建築設計</div><div>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也</div></div>	設計代表者		設計担当者		SCALE		工事名称 亀須公民館長寿命化改修工事	E-07
			一級建築士 No.352551 田端進也		一級建築士 No.332033 構造設計一級建築士 No.0904 井上貴智	一級建築士 No.372093 南 賢治	A3 : 1/150	図面名称 2階 電灯設備図		
							DATE			
							R 5 . 3			



照明器具撤去リスト			1 F	2 F	3 F	屋外
	F 2 1	F L 2 0 W x 1	3	3		
	F 2 1 D	F L 2 0 W x 1 バッテリー内蔵	1			
	F 4 1	F L 4 0 W x 1		2	2	
	F 4 1 U	F L 4 0 W x 1 埋込		2		
	F 4 2	F L 4 0 W x 2	4			
	F 2 5 U	F L 2 0 W x 5 埋込	8			
	D	ダウンライト	8	3		
	D 5 1	ダウンライト	6	6		
	D 6 1	ダウンライト	6			
	B	I L プラケット	5	3	1	
	I 2 D U	I L バッテリー内蔵・埋込	2	2	1	
	Y 2 1	F L 2 0 W x 1 誘導灯	3	3	1	
	S 1 0	I L スポットライト		3		
	S	スポットライト	1			
		防犯灯				1



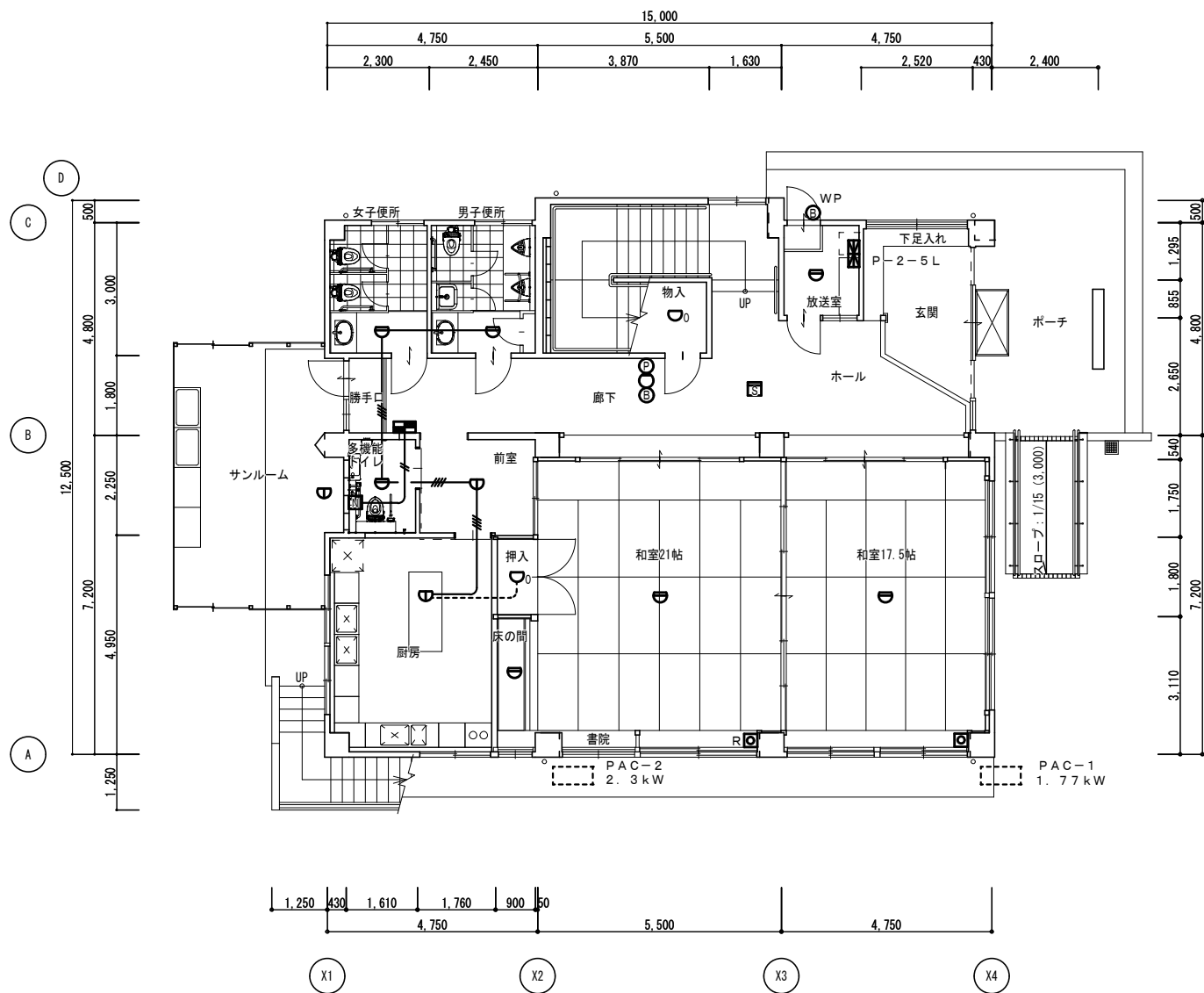
3階平面図 S = 1 / 150  
(改修後)

注記  
\* 実線の機器は新設とする。

3階平面図 S = 1 / 150  
(改修前)

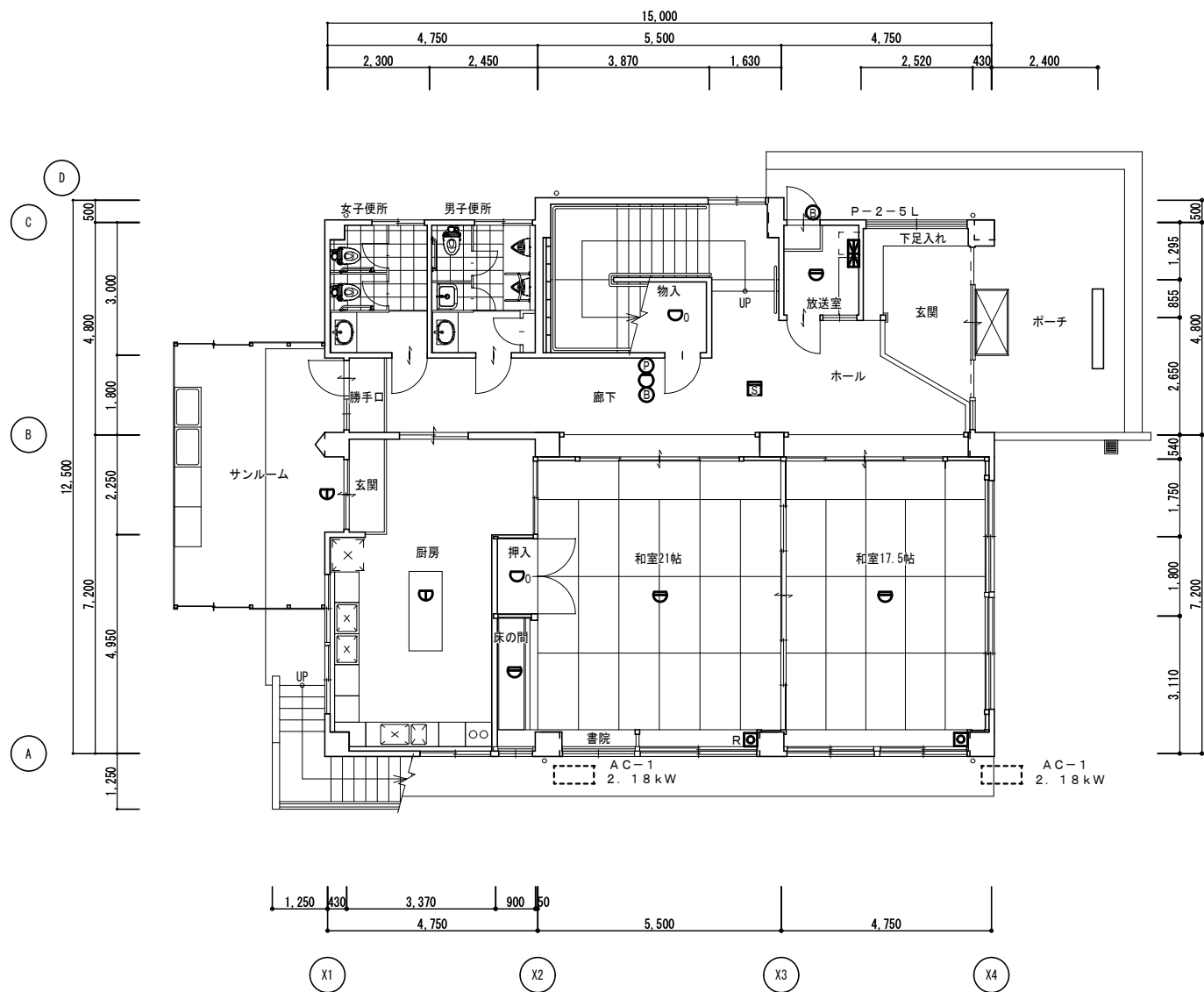
注記  
\* 実線の機器は撤去とする。





1階平面図 S=1/150  
(改修後)

特記なき配線は下記による  
EM-AE1. 2-2C  
EM-AE1. 2-4C  
注記  
\* 実線の機器、配線は新設とする。  
\* 空調電源配線再接続

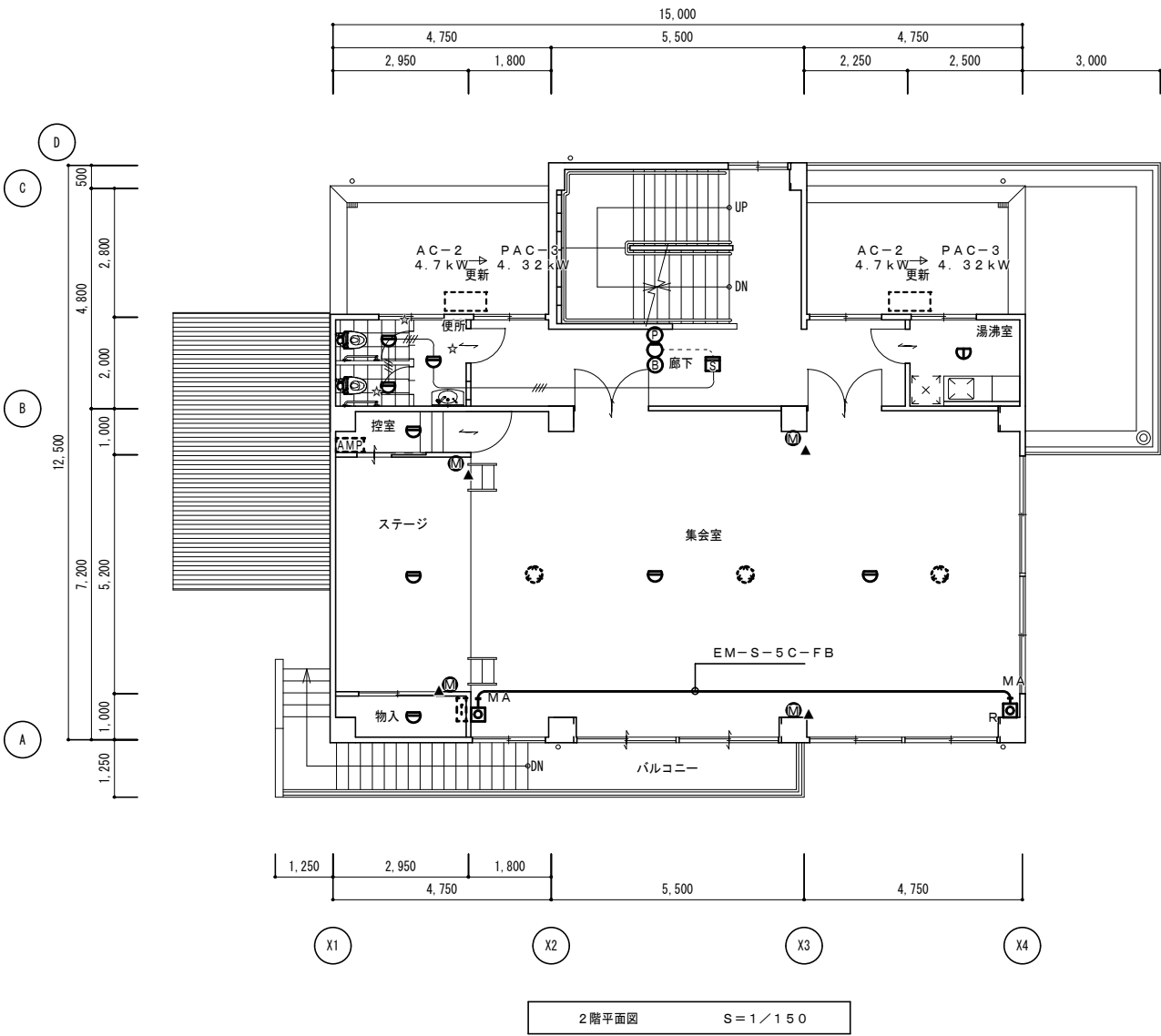
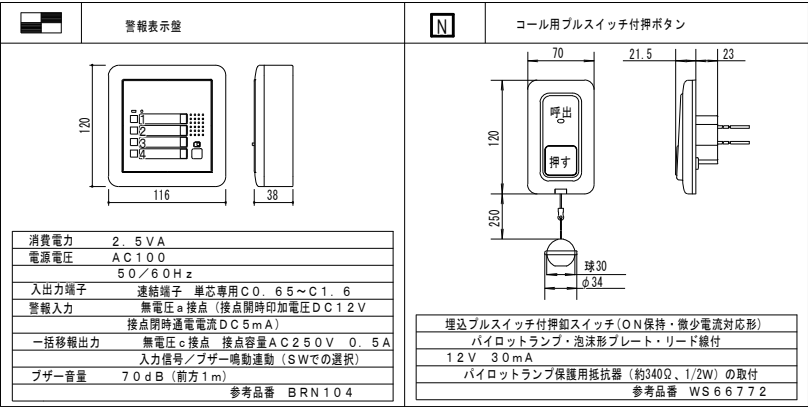


1階平面図 S=1/150  
(改修前)

注記  
\* 実線の機器は撤去とする。  
\* 空調電源配線取外し

備考		<div>田端隆建築設計</div> <div>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也</div>	設計代表者		設計担当者		SCALE	工 事 名 称 亀須公民館長寿命化改修工事	図 面 名 称 1階 弱電設備図	E-09 原図: A3
			一級建築士 No.352551 田端進也		一級建築士 No.372093 南 寛治		A3 : 1/150			
				一級建築士 No.6984 井上貴智			DATE			
							R 5 . 3			

弱電機器姿図

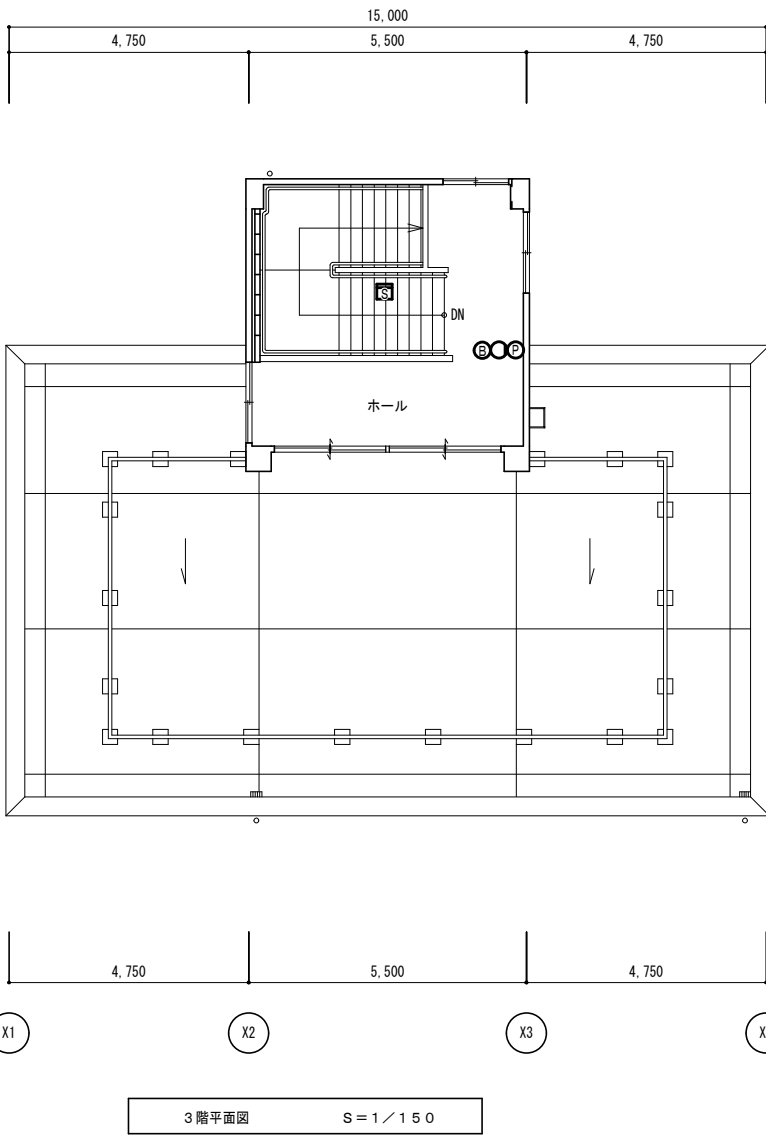


特記なき配線は下記による

EM-AE1.2-4C

注記

- \* 実線の機器は更新とする。
- \* ☆ は増設を示す。
- \* △ は撤去を示す。撤去後はプレート取付。
- \* ▲ 点線は既設再使用。
- \* 空調電源配線取外し再接続。



・	
・	
・	
・	

(株)田端隆建築設計  
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者  
一級建築士  
No.352551  
田端進也

設計担当者  
一級建築士  
No.332033  
構造設計一級建築士  
No.6984  
井上貴智

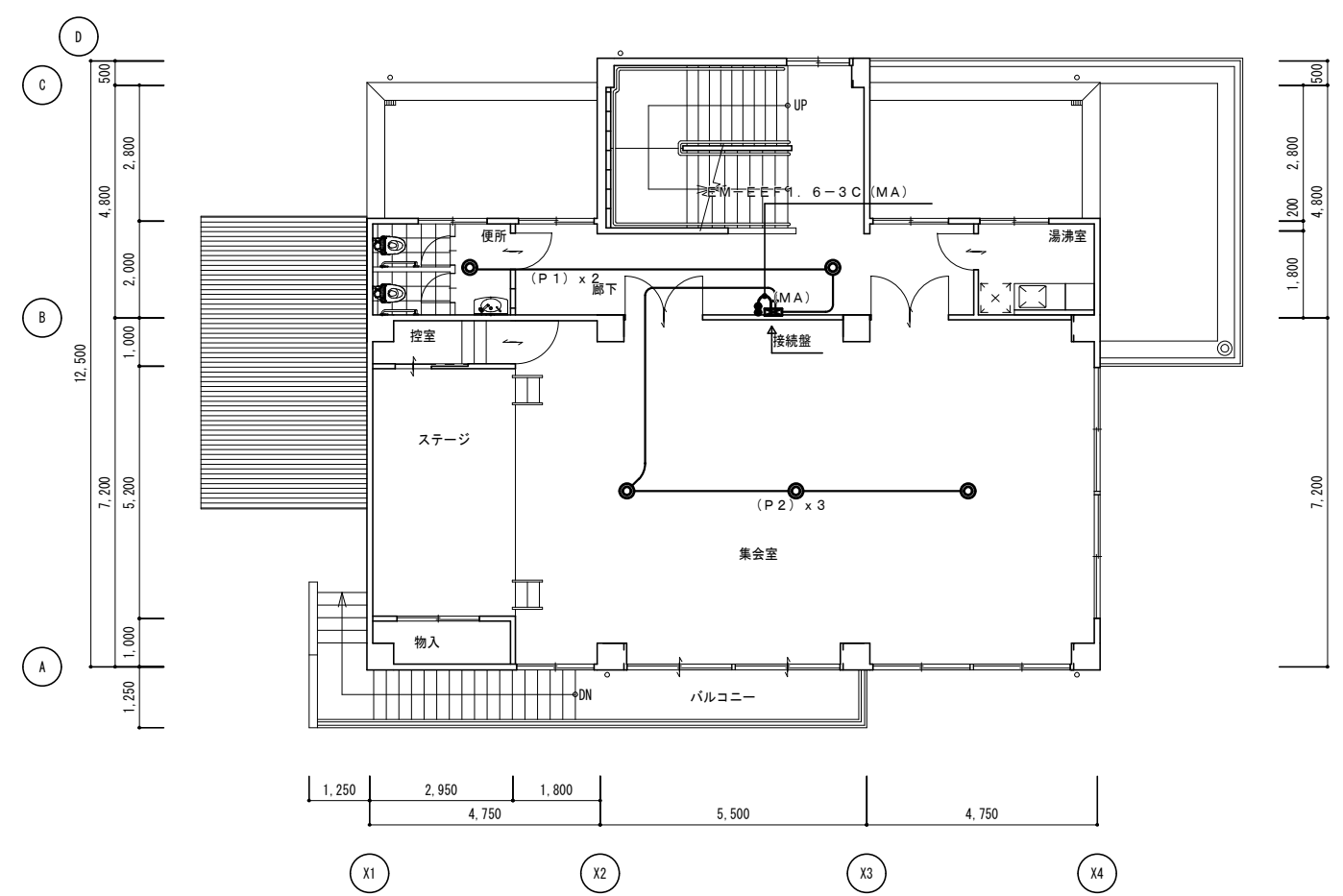
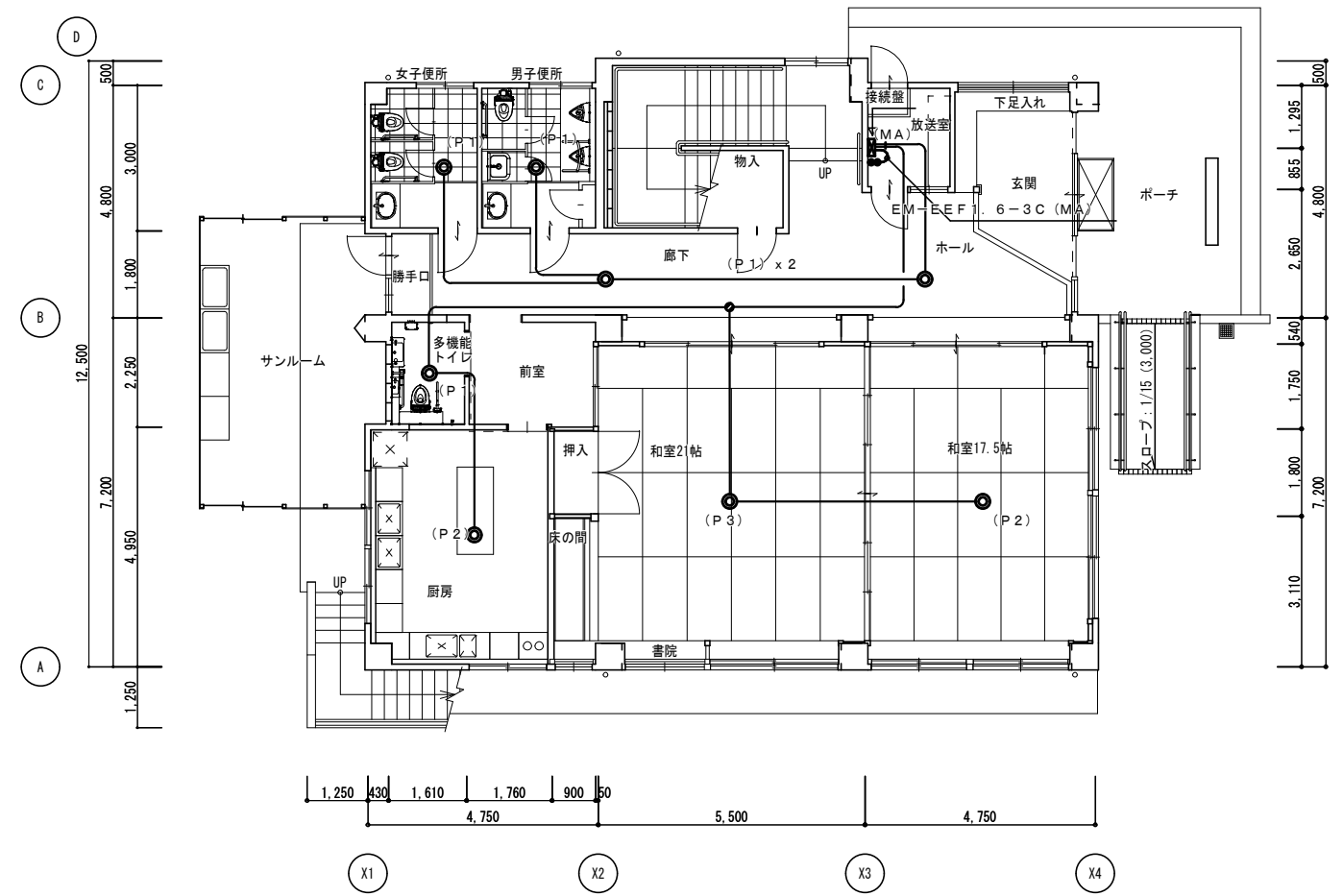
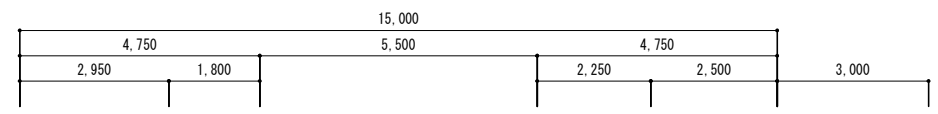
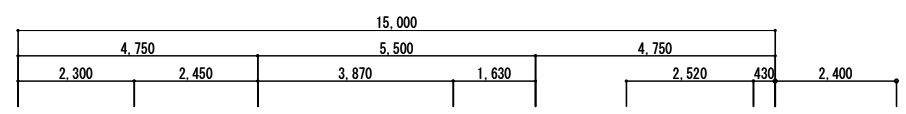
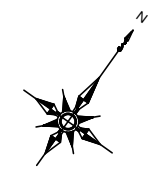
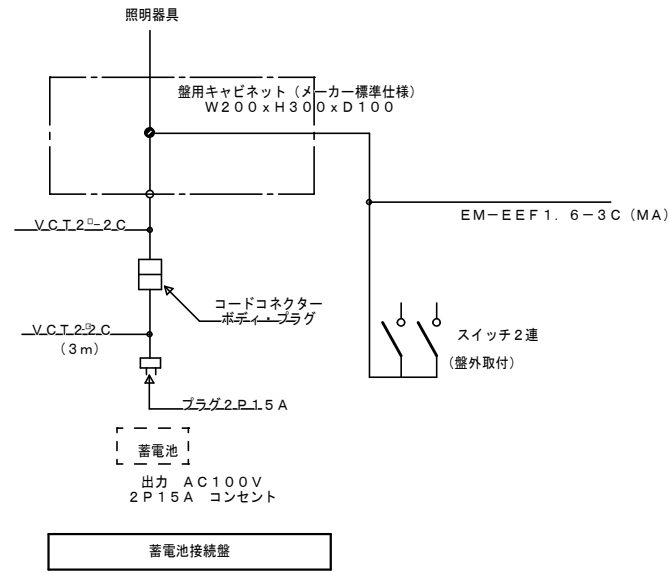
一級建築士  
No.372093  
南 賢治

SCALE  
A3 : 1/150  
DATE  
R 5 . 3

工 事 名 称 電須公民館長寿命化改修工事

図 面 名 称 2階・3階 弱電設備図・弱電機器姿図

E-10  
原図：A3



特記なき配線は下記による

—	EM-EEF1.6-2C
—	EM-EEF1.6-3C (MA)
(MA)	壁面露出メタルモール (A型)